

総合研究所 News

2016年度スピリチュアルケア研究講演会 人生の終幕への寄り添いを考える ～かけがえのない人生への伴走と分かち合いのケア～ 第2回「病を生きる人への スピリチュアルケア」 実施結果-アンケート集計結果の概要

「終活」という言葉が日常的に用いられるようになりました。自分の人生の閉じ方を考えることも、旅立とうとする人への寄り添い方を考えることも、かけがえのない“いのち”を大切にす精神のあらわれではないでしょうか。2回シリーズの2回シリーズの第2回目、元淀川キリスト教病院チャプレンで、本講演会の代表を昨年末までお務めくださった窪寺俊之先生による講演です。こころ豊かに考えることのできる時間を、多くのみなさまと分かち合いたいと思います。

日時 2017年1月20日（金）15：20～17：50

場所 聖学院大学ヴェリタス館教授会室

【プログラム】

開会挨拶・司会

田村 綾子

（聖学院大学人間福祉学部人間福祉学科教授 社会福祉士・精神保健福祉士 日本スピリチュアルケア学会認定スピリチュアルケア師）

講演

窪寺 俊之

（聖学院大学大学院客員教授、元淀川キリスト教病院チャプレン、元聖学院大学人間福祉学部こども心理学科長・教授）

質疑応答

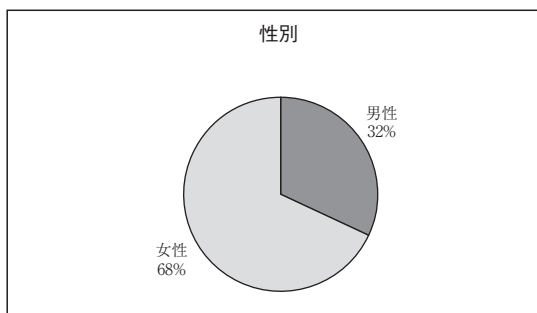
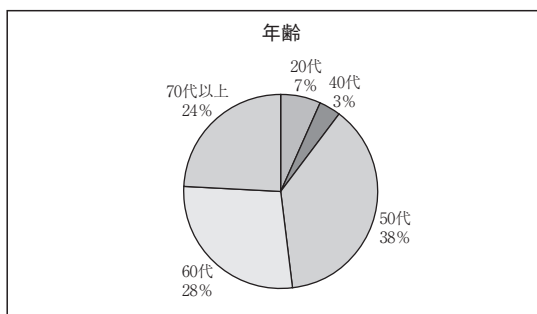
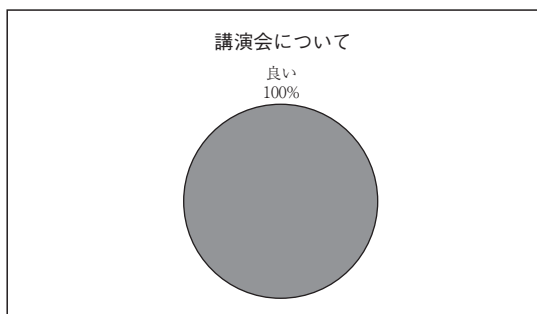
閉会

【結果の概要】

- ・参加者は57名。内、アンケート回答者は29名。
- ・回答者のプロフィールとして、年齢は「50代」が最も多く、38%。性別は女性が約7割だった。
- ・講演については、「良い」が100%と大変高い評

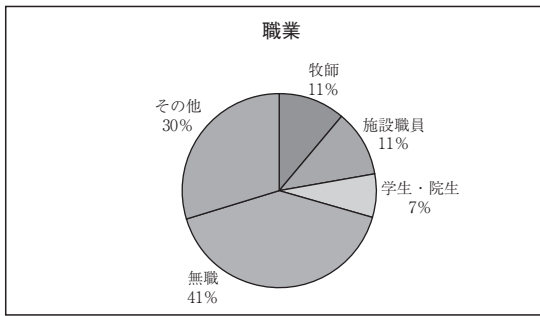
価を得た。

- ・意見として、「大変貴重なお話だった」「深刻なテーマだったが大きな希望が与えられた」「もっと学びたいと思った」など。

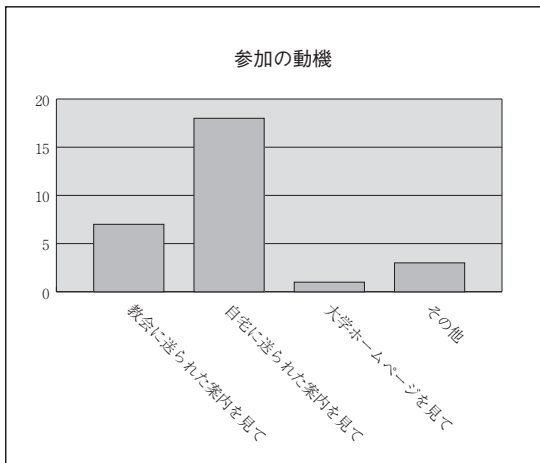


*回答者のプロフィールとして、年齢は「50代」38%、次いで「60代」28%だった。

性別は「女性」68%、「男性」32%だった。



*職業は、「牧師」「施設職員」が同じく11%。
「その他」の内容は、「メディカルライター」「主婦」「幼稚園教師」など。



*参加の動機としては、「自宅に送られた案内を見て」は最も多かった。
「その他」の内容は、「チラシをいただいて」「大学からの案内」など。

今後聞いてみたい講演会や希望

- ・人生の終幕を迎えてはいないけれども、心の病などによって同じような痛みを抱える方へのケア。また時々（ある一定の割合で出会う）いる。特に問題があるわけではないのに、深く考え込む性質の子どもとどうつき合っていくか？
- ・スピリチュアルケアのお話は機会があれば何度も伺いたい。
- ・老後（退職後）の人生をどのように生きるか。
- ・自死の問題、特にクリスチャンの自死について、お願いします。
- ・以前にもありましたが、参加を逃してしまったのでグリーフケアについてももう一度やっていただければと思います。特にクリスチャンでない方で家族を亡くされた方に伝道を含めてどう関

わったら良いか知りたいです。

- ・この流れでもう一回お願いします。
- ・窪寺先生のお話を、また聞きたいです。
- ・発達障がい、精神疾患をもって生きるということ。
- ・以前、黒鳥偉作先生のお話を聞いたが、また聞きたい。
- ・“子ども”小児がんなどのスピリチュアルケア。
- ・スピリチュアルケアについてもっと学びたいと思った。スピリチュアルケアに関する講演会をまた行ってほしい（スピリチュアルケアを受けている当事者のお話など）。
- ・教会内でスピリチュアルケアを学ぶ講座があれば良いと感じた。又は地域の教会が合同で行ってもいいのではないかと思います。
- ・介護問題。
- ・相模原事件について。

自由意見

- ・私が今様々な物、事から解放されて、自由になってきているのは、スピリチュアリティ力が少しずつ養われてきているのだと実感させられるメッセージに感謝します。主から頂いている愛によって私が愛されているように、愛が必要な人々に愛を持って使えることができるよう、今後まず自分のケアを大切にとりくみたいと思わされました。昨年夏、義母が召されましたが、今日お話を聞いて全人的ケアができたと自信を持ちました。無理な治療をせず、天命によりそい共に過ごすことに徹すること特に最後の3日間家族でケアすることを主が与えて下さったことに改めて感謝いたします。
- ・スピリチュアリティの視点を改めて勉強させていただきました。実際の現場体験に基づく濃く、深い内容だと感じました。ありがとうございました。
- ・窪寺先生ありがとうございました。一層のお守りをお祈りいたします。
- ・豊富な体験と深い洞察に満ちた講演で、死にゆく方々へのケアという深刻なテーマでしたが、大きな希望が与えられました。
- ・ご体験を通してのお話はとても感銘深く伺うことができ、感謝です。「あずけられた人生」（窪寺先生）を最高に生きたいと希望しています。

感謝、感謝。

- ・今回の講演では時間が足りない！！と思いました。また窪寺先生のお話を聞かせていただきたいです。ありがとうございました。
- ・スピリット、いのちを大切に育てたいと実感しました。存在論的人間観を大切にありたいと思い日々歩んでいます。できる、できない、目標達成に価値をおきすぎると、今ここにいることに喜びをもてるという事を置き去りにしてしまうと思います。ありがとうございました。
- ・改めて先生のお話を聞く機会もなく、スピリチュアルケアの勉強をしていたと思いました。もっと詳しく何回にも分けてお話を聞く機会を頂けたらと思いました。
- ・大変貴重なお話でした。豊かな経験の中から導かれた大切な内容の多い講演だったと思いました。
- ・前回遅刻したが、実践的な佐々木炎さんのお話に打たれました。今回、時刻前から窪寺先生のご自身の中1落第カミングアウトから始まり誠意を感じました。背に書いてある見せたくない。私のレベルと同じレベルにこの方も立っているのかと驚き安心しました。イエスのへりくだりのようでよくお話を下さっていると、血の通った愛の通い合いを感じるお話だった。神が許して下さい1日が生きていられる。同じく神さまに糸でぶら下がっている仲間なのかと嬉しくなる。
- ・今まで感じていたスピリチュアルケアと、全然違う事に気づかされました。
- ・寒い中来て良かった。自分の中の“スピリチュアリティ”を見つけることの大切さがよく分かりました。
- ・個人的にも姉が認知症、弟が体調不良で入院と老齢の時代を生きる現実を経験最中です。とても良い学びが出来、生かして、生活していきたいと思います。感謝。
- ・元々スピリチュアルケアには興味があり、学生の頃に先生の本も読ませて頂いたことがありました。心の願いとしては、職場でも、身近な人との間でもスピリチュアルケアを心に留めながら人と関わりたいと思っています。現実的に難

しいことも多いですが、今回の学び覚えて、日々向かいたいと思います。ありがとうございました。

- ・とても素晴らしいです。
- ・これからスピリチュアルケアについて、もっと学んでみたいと思います。